

気付いてくれた人もいるでしょうか？6月に入り、1階から4階の出張図書館展示も模様替えしています。1階では、喜多川泰さんという作家の小説をクローズアップしてみました！詳細は裏面にあります。喜多川さんは8月の大高祭の講演会に来てくださる予定です。自己啓発的な内容の作品を多く出しておられます。『「福」に憑かれた男』では、閉店危機にあった実家の長船堂書店を主人公の秀三がいかにか立て直すかが読みどころになっています。ピンチをチャンスに変えるのは心掛け次第だということのようです。

NEW BOOKS



(049) 偶然短歌 いなにわ(著)

2017(平成29)年3月10日(金)の朝日新聞33面に紹介され話題になりました。ウィキペディア日本語版の文章から短歌のリズムになっている部分をコンピュータのプログラムで発見！「その人の読む法華経を聞きながら眠りについて、そしてそのまま」「小説を書き始めるが、そのことで、大事なものを失っていく」「性格の不一致などの問題を抱えながらも、流されるまま」「正しいが、人々が持つ宇宙への夢に対する配慮に欠けた」…前後の文章は唐突に切り取られているため、逆に詩的な味わいが出ている作品ばかりです。



(366) 保健師・養護教諭になるには 山崎京子(監修)

地域住民の健康をサポートする保健師。「保健室の先生」として子どもたちの心や体の悩みを解決していく養護教諭。それぞれの仕事と、その仕事に就くまでの道のりを詳しく解説していきます！

(371) 質問する、問い返す 主体的に学ぶということ 名古屋隆彦(著)

各地の学校でアクティブ・ラーニングが積極的に導入されるなど、教育現場では「主体的・対話的な学び」のあり方に注目が集まっています。でも、主体的に学ぶとは実際のところどういうことなのでしょう。皆さんは普段の学校生活の中で「主体的な学び」を意識しながら生活出来ていますか？本書では、共同通信の記者として長年活躍された著者の名古屋隆彦さんが分かりやすく解説してくれます。

(379) 家庭教育は誰のもの？ 家庭教育支援法はなぜ問題か 木村涼子(著)

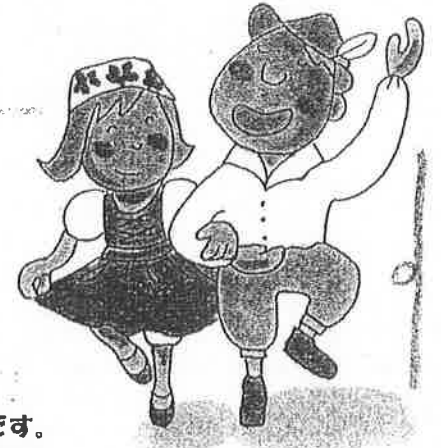
学力格差や貧困問題の解決策として浮上している「家庭教育支援」の強化は、社会に何をもちたらずのでしょうか。日本における子育て観、「親学」推進運動との関係、改正教育基本法とのつながり、戦前の家庭教育振興や憲法改正論議との関わりなど、「国家と家庭」にまつわる事例から検証していきます。少し難しく感じるかも知れませんが、今話題になっている時事問題の一つですので、関心を持って読んでみましょう！

校長先生のオススメ本です！

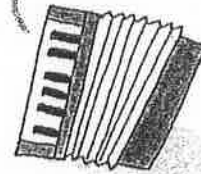
恩田克幸校長先生推薦

「ソフィーの世界 哲学者からの不思議な手紙」

(ヨースタイン・ゴルテル著/池田香代子訳)

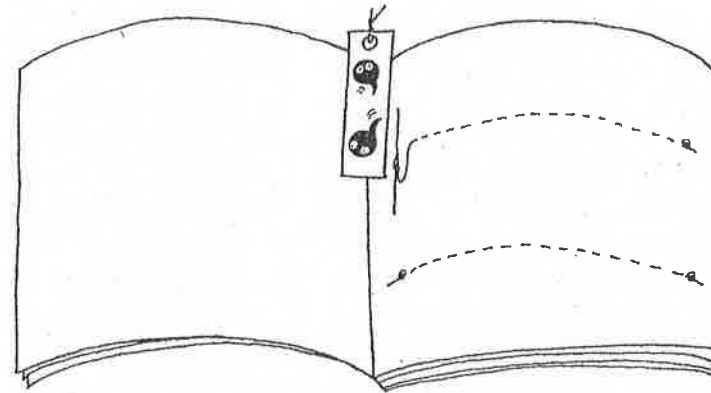


ノルウェーの高校で哲学を教えている教師が書いた書物です。少女ソフィーに向けて、「あなたはだれ？」「世界はどこからきた？」という根源的な問いを投げながら、西洋哲学者の考えをやさしく紹介していきます。特に、「倫理」の授業を受けている人に「そういうことだったのか！」と納得させてくれる本です。



図書購入希望調査のお知らせ

図書購入の参考にします。図書館に置いてほしい本がある人は、下の紙に書いて、図書館まで持ってきてください。



きりとり

年 組 名前

書名 (ほいのかま)	
著者名 (ほいのかま)	出版社 (わかるとまだけ)

喜多川泰さんの本が新しく入りました！

今年の大高祭にて講演して下さる予定です。

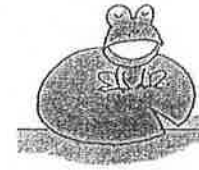
喜多川さんは1970年、愛媛県生まれ。東京学芸大学卒業。

1998年に横浜で、学習塾「聡明舎」を創立。

2005年からは作家としても活動開始。

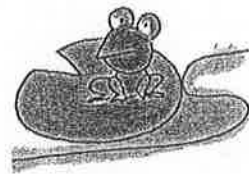
新しく入ったのは以下の本です！

『書齋の鍵』『心晴日和』『「福」に憑かれた男』



書齋の鍵

著作累計70万部突破！自己啓発小説の旗手、喜多川泰氏による待望の新作です！「自分が幸せになることでしか、救えない人生がある」舞台は未来（2055年）の東京。生前、親交が薄れていた亡父が浩平に遺した唯一の遺産は、時代遅れの書齋でした…。



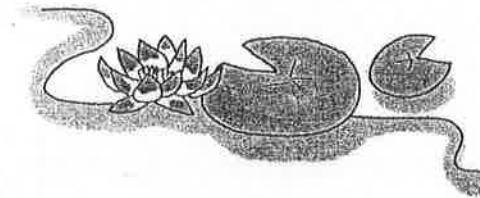
心晴日和

小さな心掛け一つで「幸運」「不運」のコントロールは可能！

ポジティブな言葉で、自分の人生を切り開いてみる。

人から言われてみる。「ありがとう」を集めてみる。こんな小さなことからでも現状を変えることは可能です！

14歳の美輝はクラスの女子からいじめられ、孤独を感じる毎日を送っていましたが…。



「福」に憑かれた男

閉店間際の小さな書店が完全復活した理由とは！？

秀三は突然他界した父親に代わり、実家の長船書店を継ぐことになりました。

店舗を大きくすることを夢見ていましたが、集客は日に日に落ちていき…ついに店を閉めることを決意した秀三でしたが、実はこれらの出来事には深い理由がありました。その理由とは！？